消防署長 殿

住 所

申告者 職業 (職)

電話

氏 名

不動産り災申告書

					こり 火					
1	り災年月日			年 月	日	り災物件 告者との		所有者・管理者・占有る	者	
	り災場所									
2	建築・購入年月			建築又は購入金額						
	推定・記録・記憶			推定・記録・記憶・不明						
	年 月			1 m²	1 ㎡ 当たりの金額(円)			総 金 額 (円)		
3				取	取得後の経過					
	修年月			修繕・改築	修繕・改築した箇所			修繕・改築に要した金額(円)		
	繕									
	改	年								
	築	月								
		年 月	増	英の概要 増		曽築面積(m²)	増	増築に要した金額(円)		
	增									
	年									
	築	月								
4	り災前の建物詳細									
	建物の用途			屋根	屋根外壁階数			延べ面積 (㎡)		
	日分业业粉				111-411-	P 4:	, =		ı	
	居住世帯数				世帯 居住人				人	
5	10 W II III F				建物・収容物以外のり災			(-) NO. 1 (NO.		
	り災物件名			Ŋ	り災の別数量		は面積	経過年数		
				焼	焼・爆・他			年	E.	
				焼	焼・爆・他			年	Ē.	
				焼	爆・他			年	Ē.	
				., -	7.7	かめ 契	約	年	Ē.	
		型	約会社名	焼 火 災	保	験 の 契 E月			Ē	
		契	約会社名	., -	7.7			保険金額 (万円)	Ē	
6		契	約会社名	., -	保				Ē.	
6		契	約会社名	., -	保				Ē	

別記様式第4号(裏)

不動産り災申告書記載要領

(1の欄)

り災物件と申告者との関係は、当てはまるものを○で囲んでください。

(2の欄)

- 1 建築、購入年月、金額の欄は、記録(帳簿や契約書など)によって明らかなものか、推定によるものかなど、当てはまるものを○で囲んでください。
- 2 金額の欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた1㎡当たりの金額と、総 金額を円単位で記入してください。

(3の欄)

- 1 取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕、改築又は 増築があった場合に記入してください。
- 2 修繕・改築・増築の欄は、いつ、どこの部分を、どのくらい(m³)、修繕、改築、 増築し、いくら(金額)かかったかを記入してください。

年月修繕等した箇所金額例) 改築平成2年8月1階事務所部分30 m²3,532,500 円例) 増築昭和59年4月2階住宅20 m²1,520,000 円

(4の欄)

1 り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数及び延べ面積 を記入してください。

 用途
 屋根
 外壁
 階数
 延べ面積

 例)住宅
 日本瓦
 モルタル
 2階建
 75㎡

 例)店舗・住宅
 亜鉛鉄板
 石綿セメント板
 3階建
 135㎡

2 居住世帯数・居住人員の欄は、建物内全てに居住する世帯と人員を記入してください。

(5の欄)

- 1 建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。
- 2 り災別の欄は、当てはまるものを○で囲んでください。
- (1) 焼:火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融、又は破損したものなど
- (2) 爆:爆発により、壊れたものなど
- (3) 他:消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出す時に壊れたものなど

(6の欄)

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、全て記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

借 孝

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 4 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 5 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行すること ができます。
- 6 この申告書で分からないことがありましたら、次の消防署まで御連絡ください。

係

消防署

出張所

電 話



り災した建物ごとに提出してください。 ボールペンで記入してください。

別記様式第4号(表)(第23関係)

申告書を提出する日

令和 3年 4月 5日

